

各地の自然災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

## イースター礼拝

4/12 (日) 10:30~

復活されたイエス・キリストを記念して礼拝をささげます。どなたでもお越しください。聖歌隊の賛美があります。

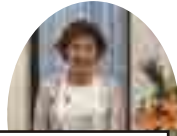


## はっぴいイースター in 宝塚 入場無料

4/18 (土) 14:00~ 「試練の中の宝」

講師: 俣木聖子さん

(おたぎの企画「シャローム」株式会社副社長)



**新型コロナウイルス感染拡大防止のため  
中止とさせていただきます。ご了承ください。**

1944年大阪市にて誕生。2000年4月、介護事業所シャローム株式会社創業。2002年3月、ウーマンズビート大賞(カネボウ化粧品、読賣新聞主催)「花、咲きまっか」大賞受賞。応募作品2600編の第1位となる。2003年3月、日本テレビにてドラマ化。出演者:室井滋、相葉雅紀、草笛光子。2019年7月、シャローム株式会社副会長。6名から出発したシャローム株式会社は今720名でお年寄り方の命を守っている。

## 賛美歌誕生秘話 「主よ 御許(みもと)に」

先月に続いて、教会の葬儀でよく歌われる賛美歌をご紹介します。「主よ 御許に」です。

歌詞の由来は、旧約聖書の創世記に登場するヤコブのエピソードです。故郷を追われて荒野を旅していたヤコブは、石を枕に仮寝をした時、不思議な夢を見ます。天と地をつなぐ階段があり、そこを天使たちが昇り降りしているのです。

この賛美歌が作られたのは19世紀イギリスです。セーラ・アダムスという女性が作詞しました。ある時、彼女のもとを牧師が訪ね、礼拝でヤコブのエピソードから説教をすることを話します。これを聞いた彼女は、着想を得て、その日のうちに詞を書き終えました。その後、アメリカで曲がつけられ、各地の教会で親しまれ、歌われるようになりました。

1912年、大西洋で沈没した豪華客船タイタニック号の船上で、楽団員たちがこの「主よ 御許に」を演奏したことが世界中で報じられました。宮沢賢治は、このことを知り、大きな感化を受け、「銀河鉄道の夜」の中にこの賛美歌を登場させました。



ヤコブの夢

生きている間であれ、死ぬ間際であれ、孤独を感じる時はいつでも、主を信じる者の魂は主の御許に近づき、平安をいただくことができます。歌詞に込められたメッセージは、この賛美歌と共に、今に至るまで人々の心に響き続けているのです。

1. 主よ 御許に 近づかん  
昇(のぼ)る道は 十字架に  
ありともなど 悲しむべき  
主よ 御許に 近づかん
2. さすらう間に 日は暮れ  
石の上の 仮寝(かりね)の  
夢にもなお 天(あめ)を望み  
主よ 御許に 近づかん
3. 主の使いは み空に  
通(かよ)う梯(はし)の 上より  
招きぬれば いざ昇りて  
主よ 御許に 近づかん
4. 目覚めてのち 枕の  
石を立てて 恵みを  
いよよ切に たたえつつぞ  
主よ 御許に 近づかん
5. 現(うつ)し世をば 離れて  
天翔(あまがけ)る日 来(きた)らば  
いよよ近く 御許に行き  
主の御顔(みかお)を 仰ぎ見ん

# 宝塚栄光教会

牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャスト

でも配信!

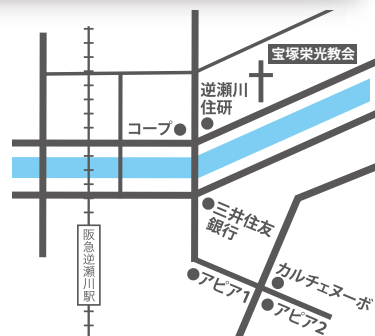
ホームページから  
利用できます。

礼拝 毎週日曜日

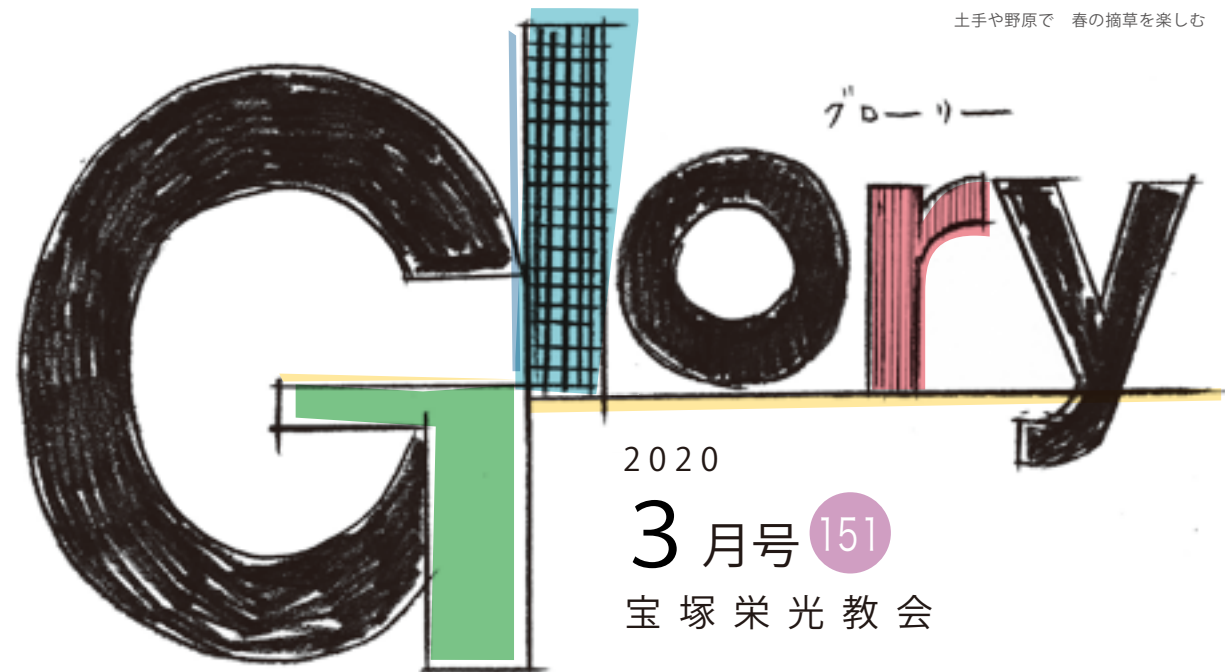
10:30~11:40



わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



土手や野原で 春の摘草を楽しむ



## きわみまでの愛

聖書は神様からのラブレターだと言われます。聖書のどこを開いても、神様からの私たちへの愛の呼びかけで満ちています。

聖書にこのように書かれています。「さて、過越の祭りの前のこと、イエスは、この世を去って父のみもとに行く、ご自分の時が来たことを知っておられた。そして、世にいるご自分の者たちを愛してきたイエスは、彼らを最後まで愛された。」(ヨハネの福音書13章1節)

この「最後まで」という言葉には、時間的にご自分の生涯の最後に至るまでという意味と、程度において徹底的に、極端までという二通りの意味がこめられています。

十字架に付けられる前の夜、イエス様はご自分の死を目前にして、自分のことよりも、後に残されていく弟子たちを愛され、その愛を残るところなく示されました。それほどイエス様は、彼らを深い愛で愛し抜かれたのです。

このあとイエス様は、たらいに水をくんで、土とホコリで汚れた弟子たちの足を順番に

洗って行かれました。人の足を洗うのは奴隷の仕事でした。イエス様の愛は、謙遜という形で現れました。

本当の愛は、謙遜を伴うものです。愛していると言いながら、傲慢な姿勢のままにしているとすれば、その愛は偽りです。また、本当の謙遜は、愛に裏付けられたものであるはずで

イエス様は、本当の愛と謙遜をもって、最後まで弟子たちに接しられたのです。弟子たちだけではありません。イエス様は、私たち一人一人に愛と謙遜を示されました。そのきわみが十字架です。罪のない神の子キリストが、極悪人の付けられる十字架に付けられたのです。それは私たちのためでした。イエス様は、私たちの身代わりとして十字架で死なれたのです。そうしていただかなければ、私たちの罪は決して赦されることがなかったのです。

キリストのきわみまでの愛は、あなたにも注がれています。どうぞ、このキリストの大きな愛を、心に深く受けとめてください。



なかせんどう  
「中山道にて 一春に会おうー」

中山道は 江戸時代に整備された  
東海道 日光街道 奥州街道 甲州街道とともに  
五街道のひとつであり 京都と江戸を結んでいた

全行程 約540kmの街道に 69ヶ所の宿場が置かれ  
そのうち11宿が 木曾にある  
それで 中山道は「木曾路」とも呼ばれていた  
「木曾路は すべて山の中である」  
島崎藤村の『夜明け前』の 書き出しである  
そのように 関東平野以外は すべて山の中の街道である  
木曾川に沿う 険しい峠と深い谷を抜けて伸びている 木曾路であった

この歴史の街道を歩くのは 私の楽しみのひとつであった

はるか昔 幾人もの旅人が 踏みしめた道  
宿場の名残を探し 味わいながら  
また 古いたたずまいが語りかけてくるような  
不思議に 心の落ち着く道であった

時に 足元の草々も 梢を抜ける風の音も 楽しいものだった  
そして 俄然 春に出会った 中山道 木曾路の道の途上  
春の光景にとらえられた  
桜の枝々は 両手を広げて 私を迎えてくれた

ハレルヤ

わたしたちの神をほめ歌うのは いかにも喜ばしく  
神への賛美は いかにも美しく 快いことか

詩編147編（聖書）